

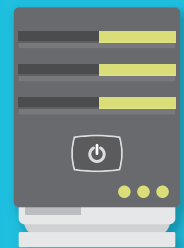
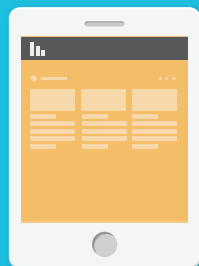
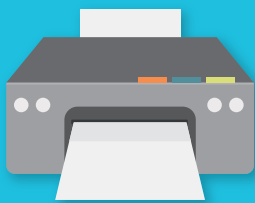


小さく始める

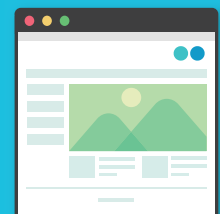
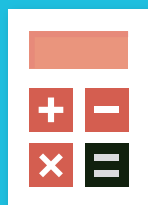
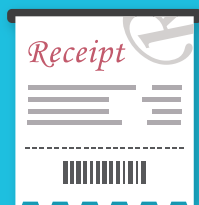
改善 支援

# IT活用事例集

業務効率化の取り組みに利用できる補助金のご紹介



今の業務のやり方を少し見直して  
時間にゆとりを持ちませんか？





## お好み焼き 久ちゃん

飲食店



低コストでタブレット型  
POSレジを導入

販売状況を把握、適正在庫の維持

### 問題点・課題等

- 売上データや仕入データの分析を行い、今後の経営に役立てたいが、分析用のデータをどのような方法で、どこまで詳細に収集する必要があるのか分からない。

### 取り組み内容

- レジデータと経理データ  
日々の事務作業の中でデータ蓄積を行いつつ、経理作業の軽減に繋げていくことにした。使い慣れているipadで利用できるシステムの導入を検討した結果、ハードの買い替えや自動バックアップに対応可能なクラウドサービス「Airレジ(注文、精算)」と「弥生会計オンライン(経理)」を利用することに決めた。今後、蓄積したデータを経営判断に活用したいと希望しているが、データを詳細に入力すると負担が増し続かない為、入力単位については程よい単位で登録するようにカテゴリ分けを行った。

### 今後の課題

- 蓄積データの活用  
メニューごとの売上データと食材の仕入データがある程度蓄積されたら、そのデータを元に廃棄ロスの防止と材料切れによるチャンスロスの防止を行ってゆきたい。



## 鈴木電気商会

家電製品販売、電気工事



クラウドサービスを  
活用したデータ管理

作業効率UP



### 問題点・課題等

- 取り扱い製品の在庫管理が煩雑で、的確な在庫状況の把握に時間がかかる。現場でデータ入力が出来ない為、現場作業後に事務所へ戻り在庫表作成するため、必要以上の残業が発生している。
- 経理はあまり複雑な取引は無い為、税理士報酬をカットできるような会計ソフトがあれば経費削減の為にも利用してみたい。

### 取り組み内容

- 現場でも事務所に居るときと同じようにデータ入力できる環境を整えることで、事務所に戻ってからの作業時間を削減できた。元々Excelで各種データ管理(在庫管理、経理管理、現場管理など)をしている為、見積作成や在庫管理・現場管理などの情報確認についてはデータ管理場所をクラウド上(Google Suiteを利用)に移すことで現場でのデータ入力を実現することにした。これにより散財していたデータも一元管理することが可能となり、最新のデータを探す無駄もなくなった。
- 経理については日々の仕訳から税務申告まで出来る会計ソフトfreeeを利用し、現在よりも効率化を図り、税理士に頼っていた範囲を最小限に留めるようにできた。

### 今後の課題

- Gメールの導入なども検討し、事務所のPC端末以外で出来る業務を更に増やしていきたい。事務作業の効率化を図ったことで生じた時間の余裕は、収益を生み出す業務時間にあていき、業績拡大を図っていきたい。





## 長谷川オートサイクル <https://ome-bikes.com/>

自転車、オートバイ販売、修理



ホームページで  
パーツ購入者へ対応

### 顧客満足度の向上

#### 問題点・課題等

- 一人で、修理、整備、販売など様々な業務を行っており、お客様への接客時間に余裕が無い。
- バイク等のパーツ購入者への対応  
商品を下調べせず来店するケースが多く、商品検索や購入検討に時間がかかり、他の業務に比べ接客時間が長時間化しやすい。またパーツ受発注に関するペーパー類も多くなり書類管理も大変である。

#### 取り組み内容

- パーツ注文専用ページを設置  
当店ホームページ内にパーツ注文専用ページを開設し、顧客は事前に購入商品の検討が出来るようになり何度も店頭へ足を運ぶ必要が無くなり利便性が向上した。当店にとってもパーツの取り付けや車両メンテナンスにより時間をかけられるようになりサービス品質を保証し、顧客からの信頼獲得に繋がっている。  
また、パーツ受発注を電子データで管理することになり、ペーパーレス化が進んだ。



#### 今後の課題

- 更なる業務拡大へ  
ホームページによるパーツ注文をゆくゆくは拡張し、車両注文も可能な仕組みを構築していきたい。



## 株式会社 ショウセイグループ

総合建設業



OCRソフトウェアを  
活用した見積書作成

### 残業時間の削減



#### 問題点・課題等

- 見積書作成の作業負担  
顧客提示書類から見積書へ転記する項目が大量にあり、転記作業が数日にわたることも珍しくない。事務員が不足しており、現場作業後に見積作業をしている為、残業が恒常化している。また、見積書作成件数が限られてしまい、受注件数が伸び悩んでいる。

#### 取り組み内容

- 顧客提示資料の電子データ化  
OCRソフトウェアを使って顧客提示資料を電子データ化し、見積もり作成作業に活用することで、手入力作業を削減した。資料の状態（紙媒体・電子データ）によって電子データ化の作業手順が異なり、作業に馴れるまで多少時間が必要になったが、作業に馴れてしまえば手入力での見積書作成時に比べ、作業時間は1/12と飛躍的に軽減されることが分かった。電子データ化が進むことで事務作業の効率化による従業員の残業時間削減が図れるだけでなく、見積書の作成可能件数が増え業務拡大も可能になる。

#### 今後の課題

- 市販の工事監理ソフトの活用するなどIT活用を進めていき、更なる業務効率を改善したい。



# 業務効率化の取り組みに利用できる補助金のご紹介

(平成30年1月31日現在)



## 消費税軽減税率対策補助金

～複数税率に対応したレジや受発注システムの導入、改修にかかる費用を補助～

平成31年10月1日から消費税が10%に引き上げられると共に、一部の食品や新聞などの税率を8%とする「軽減税率制度」が実施されます。

今、ご使用になっているレジや受発注システムは複数の税率に対応できますか？

これから対応されるのであれば、複数の税率に対応したレジの導入や改修費用が補助される「軽減税率対策補助金」のご利用を検討しては如何でしょうか？

### <消費税軽減税率対策補助金>

#### ●補助対象者

中小企業・小規模事業者等が軽減税率対象商品を販売する為に、複数税率対応レジや受発注システムを導入、改修したりする場合に補助対象となります。

テイクアウトを行う飲食店も対象です。

#### ●補助対象

複数税率に対応したレジ(A型※)や受発注システム(B型※)の導入、改修に使う経費が対象。

※事前に事務局へ登録されたサービス、パッケージ、機器を購入・導入する必要があります。

詳しくはホームページを確認してください。

#### ●補助率

原則2/3(対応内容によって補助率・上限額の設定あり)

#### ●事業実施期間

平成28年3月29日～平成31年9月30日

※上記期間内に導入・改修等および支払いを完了したもの。

#### ●申請受付

平成31年12月16日まで(基本は事後申請。一部、事前申請あり)

※対応内容によって、平成31年6月28日までに事前の交付申請が必要。

## IT導入補助金

～売上アップ、業務効率アップを実現するためのIT導入支援～

IT導入を行う様々な業種・組織形態の中小企業・小規模事業者向けの補助金です。ITツールに詳しくない事業者も、補助金事務局に登録されたIT導入支援事業者よりITツールの選定、導入・運用サポートを受けながら補助金を申請し、IT化による業務効率化を実現しています。ITツール導入を考える中小企業の皆様、IT導入補助金の活用を視野にいらしては如何でしょうか？

平成30年度のIT導入補助金は前回実施した補助事業内容を見直した上で、実施される予定です。

### ご参考 平成28年度補正IT導入補助金

(平成29年3月31日～6月30日に募集)

#### ●補助対象者

中小企業・小規模事業者等が労働生産性もしくは生産性向上を目標とした事業計画にもとづき実施するITを導入する場合に補助対象となります。

#### ●補助対象

IT導入支援事業者が提供するITツール(※)を導入するための費用(ハードウェアは除く)が対象。

※補助対象となるITツール(サービス、ソフトウェア等)は、あらかじめ補助金事務局の承認を受け、ホームページに公開されています。

#### ●補助率

原則2/3(下限額および上限額あり)

→平成30年度は補助率が1/2に変更予定。



## 小規模事業者持続化補助金

～販路開拓に取り組む小規模事業者向～

ここ数年、繰り返し実施されている販路開拓に取り組む費用を幅広くカバーする小規模事業者向けの補助金です。販路開拓と共に実施する業務効率化の取り組みについても補助を受けられる可能性があります。事業計画づくりは青梅商工会議所へご相談ください。

前回募集した補助事業内容を見直した上で、平成29年度補正予算事業として小規模事業者持続化補助金は実施される予定です。

(平成30年3月頃に募集開始予定)

### ご参考 平成28年度第2次補正予算小規模事業者持続化補助金

(平成29年4月14日～5月31日に募集)

#### ●補助対象者

小規模事業者等が、作成した事業計画に基づき販路開拓等に取り組む場合に補助対象となります。

#### ●補助対象

事業計画に基づいて実施する販路開拓等の取り組み(チラシ作成、ポスティング、お店のバリアフリー化のための店舗改修など)。あるいは、販路開拓等とあわせて行う業務効率化(生産性向上)のための取り組み。

#### ●補助率

原則2/3(上限額50万円。ただし特別な取り組みに対しては別途設定あり)



## お問い合わせ

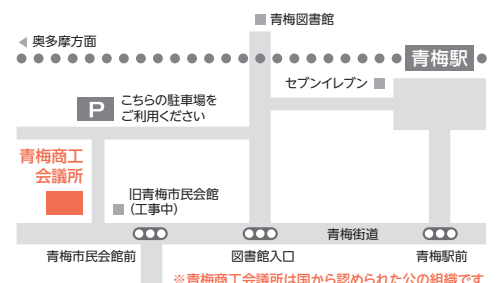
### 青梅商工会議所 中小企業相談所

〒198-8585 東京都青梅市上町373-1 TEL.0428-23-0113 FAX.0428-23-1122

営業時間 / 8:30～17:00(土・日祝を除く) <https://www.omecci.jp/>



全国商工会議所「初」  
プライバシーマーク認定取得



※青梅商工会議所は国から認められた公の組織です